

★薬食同源★

◆薬草以外の漢方生薬◆
動物、鉱物など

太田 順康

漢方薬には植物から採れるもの以外に動物や鉱物の生薬があります。中にはこれも薬になるの？と云ったものもあります。例えば No.12 柴胡加竜骨牡蛎湯の竜骨、牡蛎などがその例です。

△竜骨（りゅうこつ）

古代の大型脊椎動物の骨格の化石です。主成分はカルシウムです。腎の働きが弱って、のぼせ、動悸、不安感などがある時に用いられます。精神安定の働きもあります。歯の化石の竜骨は竜骨より精神安定作用が強いと言われてい

△牡蛎（ぼれい）

牡蠣の貝殻です。出来るだけ風化して有機物が無いのが良品といわれ、通常焙って用います。

働きは竜骨と同じく腎の働きが弱って、のぼせ、動悸、不安感などがある時に用います。成分も竜骨と同じカルシウムです。柴胡加竜骨牡蛎湯以外に、No.11 柴胡桂枝乾姜湯、No.5 安中散などに配合されています。

△蝉退（せんたい）

蝉の抜け殻です。解熱、鎮静の働きがあります。

No.22 消風散に配合されていて、痒みが強く、患部に熱感があり比較分泌物が多い皮膚病に応用されています。小児の夜啼きに薄荷湯で服用すると良いそうです。小児の陰囊の腫れには煎じた液で洗うと良い。

耳だれで痛みが酷い時に粉末をゴマ油で練って耳に入れると良いと言われていました。また耳に抜け殻の頭を差し込むようにすると耳鳴りが止まると古老が言っていたそうです。蝉の鳴き声と耳鳴りが似ているからでしょう。

△地竜（ぢりゅう）

ミミズの乾燥したものです。解熱剤として有名な民間薬です。乾燥したものを15gを煎じて2回にして服用します。煎じると姿が復元されるので、出来るだけ細かく刻むか、ガーゼの袋に入れて姿が見えないようにして置くのが良いようです。化膿症の一つで「指やめ」と云われている療症に皮を剥いで貼ると良いと云われていました。

最近ではエキスにして、血行を良くし、血液をサラサラにする薬として、血の道、動脈硬化などに応用されている先生があります。



竜骨



曜日と時間：毎週金曜日 11:00~12:00
参加：無料
<6月の予定>

いくつもの木々が重なり合い、芽生えた新緑の葉が空へと高く広がって、私たちのからだまでも伸びやかに包んでくれるようです。梅雨を前に、さわやかに風通る山道を、ゆっくり歩きましょう。

13日(金) 20日(金) 27日(金)
☆雨のときは、中止します。

お知らせ

§ 漢方相談日

(担当 太田順康)：日本漢方交流会認定漢方終身師範、岐阜県漢方研究会会長、岐阜薬科大学「漢方学」講師
今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

2日(月) 16日(月) 23日(月)

§ 6月の休診日

5日(木) 6日(金) 9日(月)
よろしくお願いたします。

§ 今年度の健診予定

お手元の受診券をご持参の上、お越しください。

◎特定健康診査：6月1日~10月31日

<対象者>
・岐阜市国民健康保険加入者
・1939(昭和14)年11月1日
~1975(昭和50)年生まれ

◎ぎふ・すこやか健康診査：

9月1日~11月30日

<対象者>
・後期高齢者医療制度に加入の岐阜市民の方

☆たばこをやめて、健康を体へ

